

⑤近代産業への飛躍の一翼

◆時代：幕末～明治維新（近代）

◆ストーリー：幕末の動乱期、洋学研究の拠点として、近代産業胎動の舞台となる。

- この関連文化財群は、天保6年（1835）に葦山代官になった江川太郎左衛門英龍（たろうざえもんひでたつ たんなん）の治績を中心とした事物等の文化財群で構成される。とくに、幕末期における近代製鉄技術の導入に貢献した葦山反射炉がその象徴的なものである。
- 葦山反射炉は、日本における近代的な製鉄技術導入の黎明期（れいめい）を象徴するもので、江川英武の女婿（ひでたけ じよせい）である山田三良（やまださぶろう）（帝国学士院長）を中心とした保存運動の展開を受けて、明治41年（1908）に陸軍省による保存修理が行われ、大正11年（1922）3月8日に国の史跡に指定された。それ以後複数回の大規模な保存・修理を経て、現在に至っている。また、日本における近代的な製鉄技術導入の黎明期を象徴するものとして、世界文化遺産登録を目指す「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産となっている。
- 江戸時代を通じて地方行政の中核機能を担った葦山代官所は、幕末期の江川英龍やそれ以降の時期においても、時代を拓く様々な政策の拠点であり、重要文化財江川家住宅の敷地を含む国史跡葦山役所跡は、この関連文化財群の中に位置づけられる。重要文化財葦山代官江川家関係資料には、幕末の海防・西洋技術に関する資料が含まれている。また、江川家関係写真は、ジョン万次郎撮影の古写真を含む幕末から明治時代前半にかけての貴重な写真461点で、重要文化財に指定されている。
- 明治維新にあたり、葦山代官江川英武はいち早く新政府に帰順し、伊豆・武蔵17万石を所管する葦山県が誕生し、江川英武が初代知事となった歴史がある。その後、明治4年（1871）の廃藩置県により葦山県は解体した。
- 香山寺の山門は、旧葦山県庁の正門を、明治6年（1873）開業の伊豆国生産会社の正門として移築し、それをさらに移転したものとされている。

表13 「近代産業への飛躍の一翼」を構成する主な歴史文化資源

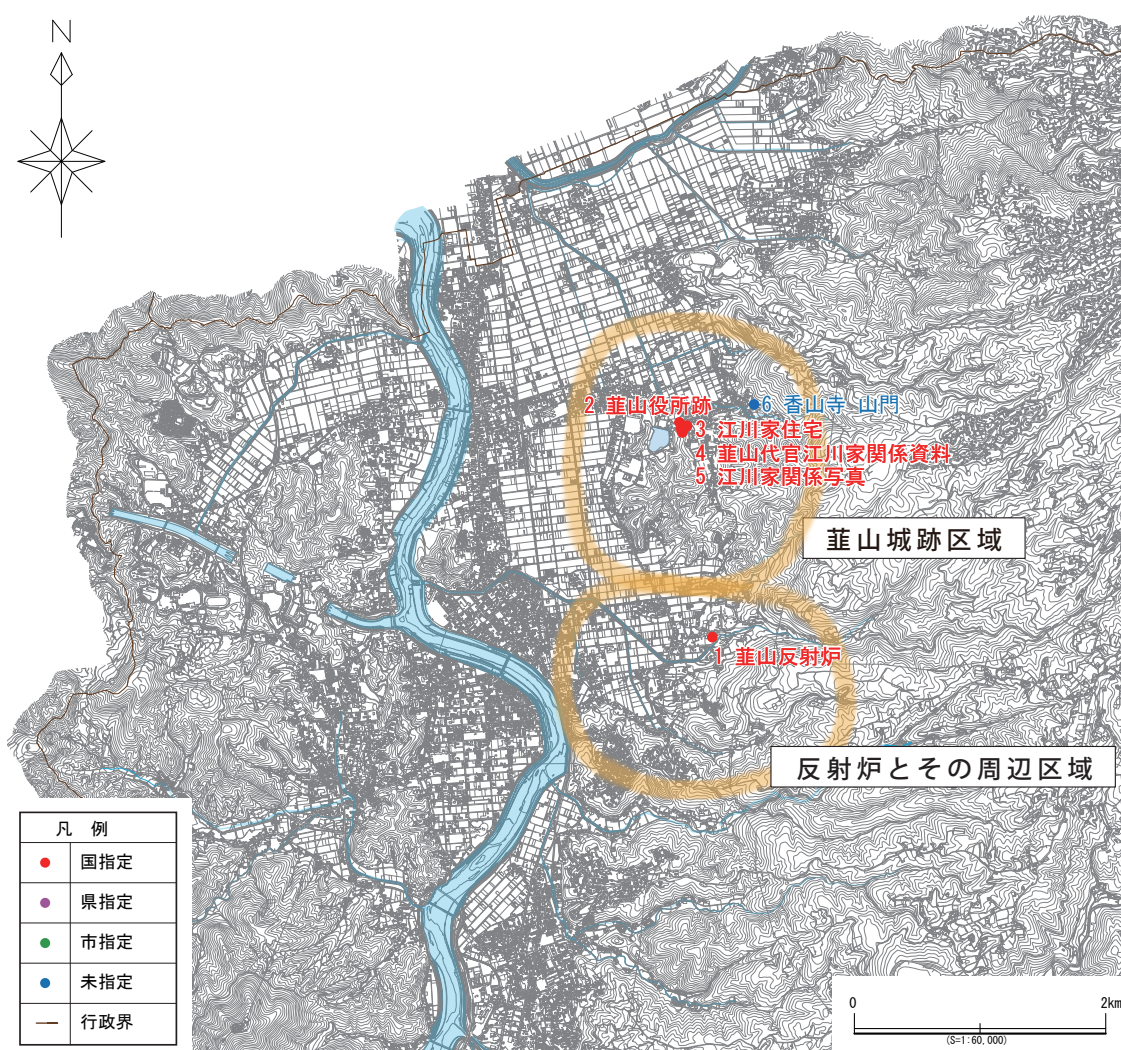
番号	種類	名称	公開の可否	所有者（管理者）	所在地
1	国指定 史跡	葦山反射炉	公開	伊豆の国市 他	中
2	国指定 史跡	葦山役所跡	一部公開	（公財）江川文庫他	葦山葦山
3	国指定 重要文化財	江川家住宅	一部公開	（公財）江川文庫	葦山葦山
4	国指定 重要文化財	葦山代官江川家関係資料	一部公開	（公財）江川文庫	葦山葦山
5	国指定 重要文化財	江川家関係写真	一部公開	（公財）江川文庫	葦山葦山
6	未指定（寺院）	香山寺 山門	公開	香山寺	葦山山木



写真 14 蕪山反射炉



写真 15 香山寺山門



第 16 図 「近代産業への飛躍の一翼」の関連文化財群の分布

⑥山川の自然のもとで現代に続く地域文化

◆時代：時を超えて現代へ

◆ストーリー：富士山・狩野川・温泉など自然の恵みに育まれた独自の地域文化が根つき、祭事等の伝統が継承されている。

- この関連文化財群は、テーマ①古代からテーマ⑤近代までの時代を貫く文化資源で構成される。
- 富士山は、市域の広い範囲から眺められるが、葦山城跡区域にある葦山役所跡（江川邸）もそのひとつである。寛政5年(1793)、老中松平定信が、海防巡見のため伊豆を訪れた際、江川邸に立ち寄り、裏門から見る富士山が素晴らしいとして、伴っていた御用絵師谷文晁に命じて絵に描かせたというエピソードが伝えられている。また、江川文庫には、江川英龍の描いた「富士山画賛」が所蔵されている。
- 下田街道は、律令国家成立時に、三島に置かれた^{こくふ}国府と伊豆国の南の地域を結ぶ重要な街道であった。守山区域には、街道沿いに下田街道道標・市神さん・道祖神などの街道に関わる文化財が残されている。また、現在の国道136号線と併行して、中世以前の下田街道（旧下田街道）が残っている。
- 狩野川は、古くは旧石器時代から暮らしや生業に欠かすことのできない資源であった。下田街道と同様に、税や産物の舟運による運搬経路としても重要な役割を果たしてきている。舟運のために必要な船着場や、取水のための^{えませぎ}江間堰が設けられるなど、狩野川の水利用が進められてきた。
- 大仁区域に伝わる「かわかんじょう」は、狩野川に関わる伝統行事である。「種蒔三番叟」・「式三番」など、地域に根づく伝統芸能も伝承されている。
- 温泉は地域文化を形成してきた歴史文化資源の一つに数えられる。伊豆長岡区域にある古奈温泉の記録は鎌倉時代にさかのぼる。その後も多くの文化人が伊豆の温泉を訪れ、紀行文や小説などにも数多く登場している。
- 山川や自然の恵みを受けて形成された文化や景観の中で、人や物の交流・交通が生まれ、伊豆の国市独自の地域文化が形成されている。

表14 「山川の自然のもとで現代に続く地域文化」を構成する主な歴史文化資源

番号	種類	名称	公開の可否	所有者（管理者）	所在地
1	国指定 史跡	葦山役所跡	一部公開	（公財）江川文庫他	葦山葦山
2	国指定 重要文化財	富士山画賛 （葦山代官江川家関係資料の内）	非公開	（公財）江川文庫	葦山葦山
3	市指定 無形民俗文化財	かわかんじょう	公開	かわかんじょう 保存会	神島
4	市指定 無形民俗文化財	種蒔三番叟	公開	—	大仁・三福
5	市指定 無形民俗文化財	式三番	公開	—	田京
6	未指定（歴史資料）	道祖神	公開	—	原木
7	未指定（歴史資料）	下田街道道標社	公開	—	四日町



写真16 富士山画賛 公益財団法人江川文庫所蔵



写真17 かわかんじょう